

# 新型コロナウイルスの感染予防 &

## ワクチン接種と各種支援

### 感染予防

#### 新学期がスタート 引き続き感染症対策の徹底を

オミクロン株のBA.5系統が主流となり、全国的に感染者数が多い状況が続いています。新学期がスタートし、子ども同士の交流なども増える時期です。家族で体調管理に努め、体調が悪いときは、出勤・登校を控えましょう。残暑厳しい9月、場面に応じたマスク着用で熱中症を予防しながら、引き続き感染症対策の徹底をお願いします。

#### ① 親族や友人で集まる会食など

お店以外の飲食の場でも感染症対策の徹底を

- ・体調が悪いときは絶対に会食に参加しない
- ・正面の席はなるべく避けて、マスク会食の徹底を
- ・感染症対策を徹底している第三者認証店を利用しましょう



#### ② 旅行・ドライブ、部活の遠征など

外出・移動先でも「うしろなご」「こころなご」

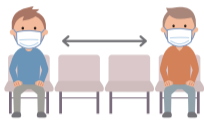
- ・混雑した場所や時間は避ける
- ・車内でもマスクを着用し、窓を開けて十分な換気を
- ・体調管理をしっかりと行い、感染リスクの高い行動を控える



#### ③ 部活動・サークル活動などでは

競技外などの場面でも感染症対策の徹底を

- ・ミーティングなどでも感染症対策の徹底を
- ・更衣室や休憩室などではマスクの着用と十分な換気を行い、密集を避けて短時間・時間差での利用を
- ・水分補給などマスクを外す場面では密集・会話を避ける



### 感染したときに備えて食料品などは日頃から3日分程度ストックしておきましょう

濃厚接触者には不要不急の外出を控えていただきますが、食料品の買い物は可能です。



市ホームページ

### 新型コロナウイルス感染症に関する相談

■発熱などの症状があるときは、迷わずかかりつけ医療機関へ連絡を。相談方法・受診先などは、市HPをご覧ください

◇受診・相談先に迷うときは、**受診・相談センター**  
☎216・1517へ

◇受付時間：8時30分～17時15分 ※上記以外の時間の相談は、**米盛病院**☎080・8742・3026へ

■受診相談以外は、**コロナ相談かごしま**☎833・3221  
FAX 225・0672へ



市ホームページ

### ワクチン接種

#### 4回目接種を進めています

3回目接種から5カ月を経過した人への4回目接種を進めています。対象は、①か②に当てはまる人です。

#### ① 60歳以上の人

3回目接種から5カ月が経過する前に届くよう、接種券を発送しています。

#### ② 18～59歳のうち次のいずれかに当てはまる人

- ・基礎疾患を有するか、重症化リスクが高いと医師が認める人
  - ・医療従事者などや高齢者施設などの従事者
- 接種を希望する人は、**接種券発行申請**が必要です(施設単位での申請も可)。



市HPの電子申請が電話で**市新型コロナウイルスワクチンコールセンター**☎833・9567、郵送かファクスで申請書

類(市HPからダウンロード可)を申請書記載の提出先へ。



市ホームページ

#### 1～3回目接種も実施しています

感染すると、若い人でも重症化することがあります。接種を希望する人は早めの予約をお願いします。



#### 接種証明書のコンビニ交付

マイナンバーカードを利用し、市内ではセブンイレブンのマルチコピー機で、1通当たり120円で発行できます。

◇海外用接種証明書のコンビニ交付には、事前に接種証明アプリか、感染症対策課窓口で海外用の接種証明書の取得が必要です

◇国内では、接種時発行の「接種済証」が引き続き利用できます

問い合わせ **市新型コロナウイルスコールセンター**☎833・9567

### 各種支援

#### 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

①令和4年度の住民税非課税世帯や、②今年1月以降に新型コロナウイルスの影響で家計急変のあった世帯に、1世帯当たり10万円を給付します(令和3年度の住民税非課税世帯や、昨年1月以降の家計急変により給付済みの世帯を除く)。9月30日(消印有効)までに①の世帯は確認書の返送、②の世帯は申請が必要です。

問い合わせ **同給付金専用コールセンター**☎088・2680

#### 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

総合支援資金の再貸付を終了した世帯などに支給します。

◇申請期限：9月30日(消印有効)

問い合わせ **同支援金窓口**☎216・6200



### 市長からのメッセージ

敬老の日に寄せて  
「ロコモ」予防でいきいきと



「ロコモ」という言葉を最近よく耳にします。「ロコモティブシンドローム」の略称で、関節や筋肉などが衰えて、立つ・歩くといった動作が困難になることです。介護が必要となるリスクが高いといわれます。

新型コロナウイルスの影響が長引く中、楽しみにしていた予定が中止・延期になったり、参加を見送ったりして、外出の機会が減っている方も多いのではないのでしょうか。その結果、家の中で過ごす時間が長くなるため、高齢の方を中心にロコモ予防が改めて注目されています。

予防には、自分に合った安全な方法で、日常生活に運動を取り入れることが大切です。併せて、仲間と楽しみながら体を動かす機会を持つことは、心の健康を保つことにもつながります。本市では、概ね65才以上の地域の皆さんがお近くの公民館などに集まって介護予防の取り組みを行う、「お達者クラブ」や「よかよか元気クラブ」の活動を支援しています。

敬老の日に合わせて、それぞれの地域で元気に活動される皆さんに敬意を表します。そして、さらに多くの方々と一緒に、どなたでも住み慣れた場所できいきいきと暮らし続けていただける取り組みを進めていきたいと考えています。

鹿児島市長 下鶴隆央